

1. 研究の対象

2010 年 1 月～2017 年 12 月までに国立がん研究センター東病院で胃切除を施行され、病理学的に T3、T4a の診断であった胃癌患者のうち包括的同意が得られている方。

2. 研究目的・方法

大腸癌では腹膜弾性板浸潤が予後と相関するという報告があります。胃癌においても腹膜弾性板浸潤を認める場合、同ステージでも予後が悪くなる可能性が示唆されています。

胃癌切除例において、切除標本の腫瘍最大滑面における腹膜弾性板浸潤の有無を評価し、予後との関連性を検討します。腹膜弾性板浸潤の有無と予後との関連性を評価することで、腹膜弾性板浸潤が有用な予後マーカーとなり、以後の治療戦略に活かせる可能性があるかと期待されます。

対象となった患者さんの診療録から、その臨床的特徴に関する必要な情報を収集します。また、切除された病変の組織を用いて前述の腹膜弾性板浸潤の有無を評価し、予後との関連を検討します。情報収集の作業に当たる人員は医師をはじめとする医療知識のある研究者です。

研究実施期間は研究許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：対象患者さんに関する年齢、性別、手術所見（術式など）、画像所見、検査所見（採血など）、病理診断結果（病理病期、脈管侵襲、治療効果判定など）、再発、予後等

試料：手術で摘出した組織

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 胃外科 寺嶋 大貴

FAX 04-7131-4724/TEL 04-7133-1111

研究責任者：国立がん研究センター東病院 臨床検査部 科長 石井 源一郎